

京都市自転車走行環境整備ガイドライン（仮称）の 内容検討のための簡易実験 報告書

1. 実験のあらまし

日時：平成27年8月8日（土） 10時～12時半
会場：京都府交通安全協会自動車練習場（京都府運転免許試験場内）

■目的

京都市自転車走行環境整備ガイドライン策定および12月～1月に行われる実証実験に向け、自転車の安全で快適な走行環境実現のための路面表示に関する知見を得る。

■実験概要

ガイドライン部会委員+α（およそ20名前後）を被験者とし、自転車走行空間に設置する矢羽根等の規格等を比較検討する。なお、被験者にはアンケートを配布する。また、実験後自転車視点およびクルマ視点から路面表示がどのようにみえるか、事務局による動画撮影および写真撮影を行い、今後の検討の材料とする。

≪簡易実験のおおまかな流れ≫

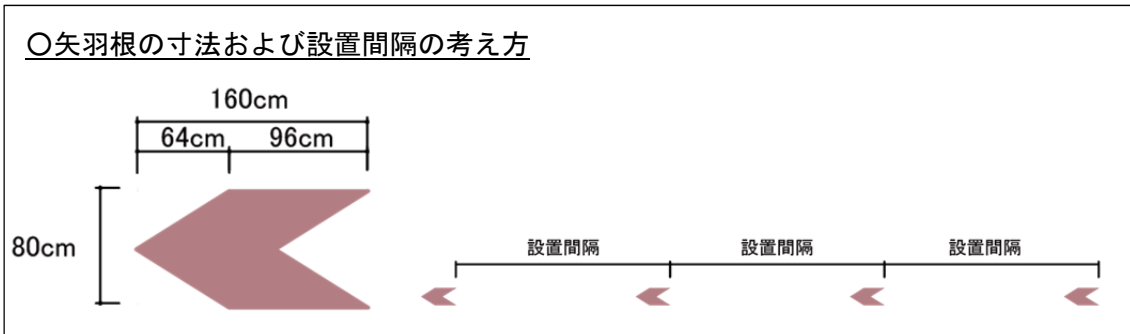
①矢羽根・自転車ピクト等の規格検討

②北岡先生制作 逆さ絵の試走

③事務局による実験の動画撮影および写真撮影

実験 1. 矢羽根間隔および自転車マーク設置位置検討

○自転車の走行位置を示す矢羽根の適切な設置間隔の検討を実施。



■実験結果

自転車からみた評価

○矢羽根設置間隔 10m 間隔は最も評価が高い

設置間隔	評価点 (5段階評価の平均点)
パターン1 5m間隔	2.6点
パターン2 7.5m間隔	3.6点
パターン3 10m間隔	3.7点

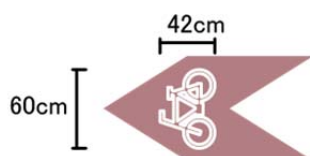
■モニター意見 (抜粋)

- ・短い間隔で多数のほうが有効かもしれないが、10mでも問題ない気がする。
- ・景観的にもペイントが過多なのはどうか。車からの目線での評価が求められる。

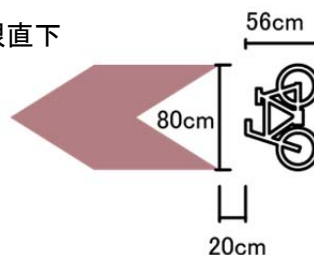
○矢羽根が自転車の走行空間を表すことを、外国人も含め誰もが分かるように自転車マークでの明示を検討。

○自転車マークの設置位置の考え方

①矢羽根内



②矢羽根直下



■実験結果

自転車からみた評価

○それぞれ評価が分かれ、得票数は同じであった

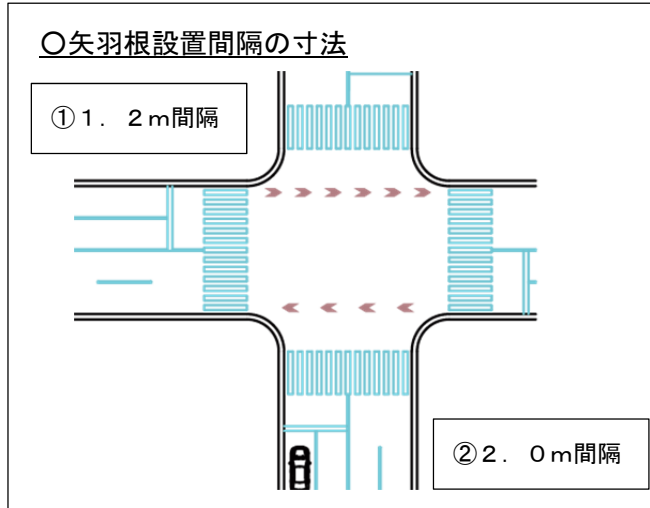
自転車マーク位置	評価点（5段階評価の平均点）	得票数
矢羽根内	マークの見やすさ 3.5点	12票
	走る場所のわかりやすさ 3.9点	
矢羽根直下	マークの見やすさ 3.6点	12票
	走る場所のわかりやすさ 3.7点	

■モニター意見（抜粋）

- ・矢羽根の中に表示がある方が、「自転車の走る場所」としてイメージしやすい。
- ・矢羽根内のほうが、路面表示としてコンパクトである。
- ・矢羽根の色よりもアスファルトのほうが、コントラストがあって見やすい。
- ・矢羽根直下のほうが色の濃淡輝度差がより鮮明で見やすくわかりやすい

実験 2. 交差点内矢羽根設置間隔

○自動車および歩行者と交錯する交差点内においてより明確に自転車の走行空間を明示するために、通常よりも矢羽根を密に設置する際の間隔の検討



■実験結果

自転車からみた評価

○ 2. 0m間隔の評価が高かった

交差点内矢羽根設置間隔	得票数
1. 2m間隔	5票
2. 0m間隔	17票
AとBの間ぐらいがよい	1票
もっと狭い方がよい	1票
もっと広い方がよい	0票

■モニター意見（抜粋）

- ・間隔が狭いほうが、安心感が高くクリアランス上でも望ましいのではないかと。
- ・単路部よりも密であるべきなので、単路部における設置間隔を踏まえて検討すべき。

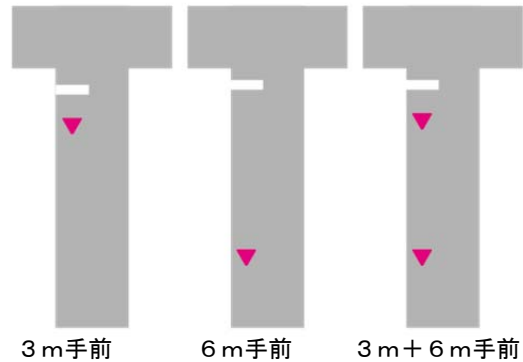
実験3. 交差点注意マークの設置位置

○今後、市内の交差点において注意喚起や観光情報等、路面を使った情報提供において、より効果的な手法の基礎的な知見を得ることを目的とする。

○交差点注意喚起マークと設置手法



注意喚起マーク(案) 幅 60 cm



■実験結果

自転車からみた評価

○停止線から6m手前に設置の評価が高かった

交差点注意マークの設置位置案	得票数
3m手前	5票
6m手前	11票
3m+6m手前(2個設置)	8票

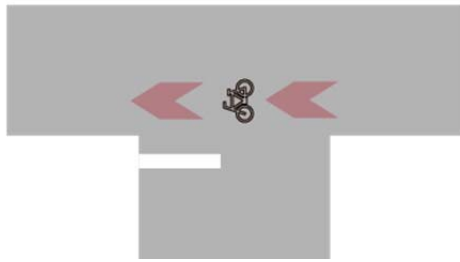
■モニター意見(抜粋)

- ・自転車の速度次第ではより手前で情報を提示すべき
- ・デザインをもっとシンプルなものにしてほしい
- ・2つ設置してあると逆にややこしい
- ・デザイン案を市民からアイデアを募るか、コンペにしてはどうか。

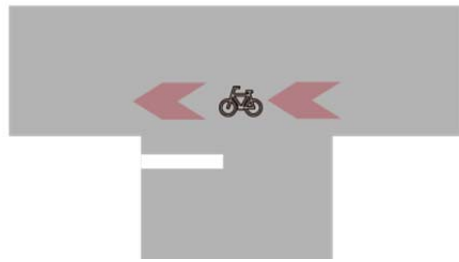
実験 4. 幹線道路×生活道路交差点 自転車マーク設置向き

○幹線道路と生活道路が交わる交差点において、自動車と自転車の事故を防ぐために自転車の通行空間であることを明示する際の情報の提示方法の検討。

○自転車マーク設置向き



幹線道路に直角



幹線道路に並行



■実験結果

自転車からみた評価

○幹線道路に並行に設置の評価が高かった

交差点注意マークの設置位置案	得票数
幹線道路に直角	5票
幹線道路に並行	11票

■モニター意見（抜粋）

- ・幹線道路に並行のほうが、自転車のマークとして認識しやすい
- ・自転車にとっても生活道路と直行する部分で向きが差別化されるのは注意喚起になる

※国検討委員会ガイドライン改訂によっては変更の可能性あり

実験5. 逆走防止マーク（さかさ絵）の試走

○立命館大学・知覚心理学の北岡明佳先生監修のもと、逆さ絵を用いた自転車の逆走を防ぐマーク（さかさ絵）の検討

○さかさ絵案



■モニター意見（抜粋）

- ・アイデアには賛成だが、マークの意図がわかりづらい。
- ・縦方向に細長くした方がみやすい。
- ・矢羽根と自転車マークだけで十分に逆走していることが確認できる。
- ・時間をかけて見ないと、わかりにくい。

3. 各実験概要一覧

実験 1. 矢羽根間隔および自転車マーク設置位置検討		
《矢羽根設置間隔》		
1	5 m間隔	50 mのみ
2	7.5 m間隔	【前半50 m】矢羽根のみ 【後半50 m】矢羽根+自転車マークの組み合わせ
3	10 m間隔	【前半50 m】矢羽根のみ 【後半50 m】矢羽根+自転車マークの組み合わせ
《矢羽根設置位置》		
1	矢羽根内	
2	矢羽根直下	
実験 2. 交差点内矢羽根設置間隔		
1	1.2 m間隔	
2	2.0 m間隔	
実験 3. 交差点注意マークの設置位置		
1	3 m手前	
2	6 m手前	
3	3 m+6 m手前	
実験 4. 幹線道路×生活道路交差点 自転車マーク設置向き		
1	幹線道路に直角	
2	幹線道路に並行	
実験 5. 逆走防止マーク（さかさ絵）の試走		
1	自転車マーク	マークを逆さにみると泣き顔に見える
2	スマイルマーク	マークを逆さにみると困り顔に見える

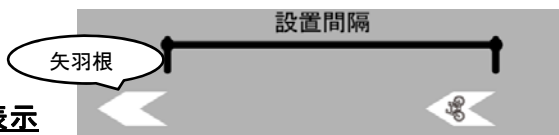
※幹線道路…都市の骨格を形成するみち（4車線以上のみち等）。

※生活道路…幹線道路に囲まれた街区の中のみち

実験① 矢羽根の設置間隔および自転車マーク設置位置の検討

※まず、矢羽根の設置間隔についてお聞きします。矢羽根の色や形・大きさについては本実験では評価しません。

実験①ーア (1周目)
自転車マークが矢羽根の中にあるタイプ



Q1. 矢羽根の設置間隔について、自転車を誘導する路面表示として設置間隔が適切かどうか5段階で評価し、丸をつけてください。

A 5m間隔
○矢羽根の設置間隔

5 4 3 2 1

適切である 普通 適切でない

B 7.5m間隔
○矢羽根の設置間隔

5 4 3 2 1

適切である 普通 適切でない

C 10m間隔
○矢羽根の設置間隔

5 4 3 2 1

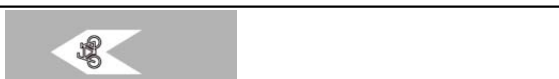
適切である 普通 適切でない

Q2. 自転車の誘導として適切だと思う順に1位から3位の順位をつけてください。

5m間隔 ()位 7.5m間隔 ()位 10m間隔 ()位

Q3. 自転車マークの設置位置に関して、以下の2項目を5段階で評価し、丸をつけてください。

1周目: 自転車マークが矢羽根の中にあるタイプ



① 自転車マークの見やすさ

5 4 3 2 1

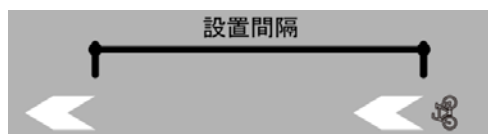
見やすい 見づらい

② 自転車の走る場所としてのわかりやすさ

5 4 3 2 1

わかりやすい わかりにくい

実験①ーイ (2週目)
自転車マークが矢羽根の下にあるタイプ



Q4. 自転車マーク設置位置に関して、以下の2項目を5段階で評価し、丸をつけてください。

2週目: 自転車マークが矢羽根の下にあるタイプ



① 自転車マークの見やすさ

5 4 3 2 1

見やすい 見づらい

② 自転車の走る場所としてのわかりやすさ

5 4 3 2 1

わかりやすい わかりにくい

Q5. 自転車マークの設置位置として適切だと思うほうに丸をつけてください。

- ・ 自転車マークが矢羽根の中にあるタイプ
- ・ 自転車マークが矢羽根の下にあるタイプ

実験②交差点内の矢羽根の設置間隔

Q6. 交差点内の矢羽根の設置間隔として適切だと思うものに丸をつけてください。

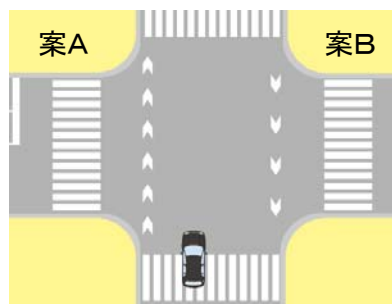
- ・案A. 1. 2m間隔(矢羽根6コ)
- ・案B. 2. 0m間隔(矢羽根4コ)

どちらでもない



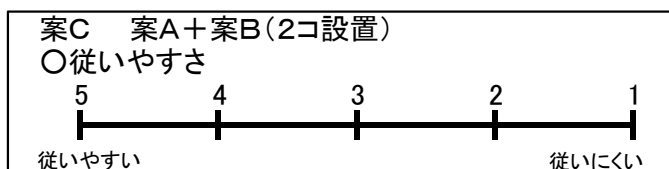
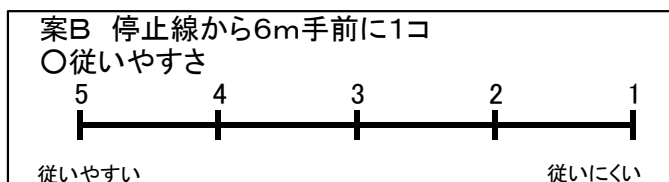
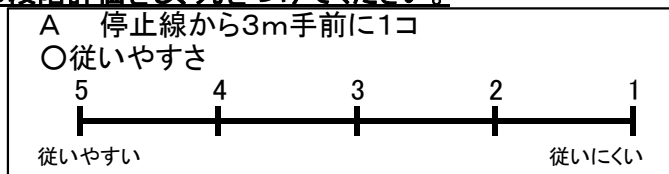
【どちらでもないとお答えの方】

- ・もっと間隔が狭い(矢羽根が多い)ほうがよい
- ・もっと間隔が広い(矢羽根が少ない)ほうがよい



実験③交差点注意マーク設置位置の検討

Q7. 交差点注意マークの設置位置として、マークをみて、マークの内容に従いやすいかという点から設置位置について5段階評価をし、丸をつけてください。

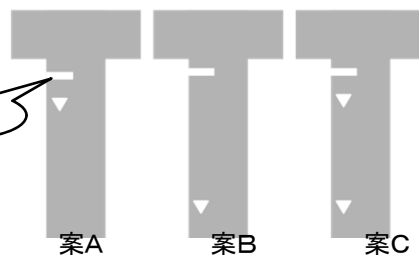
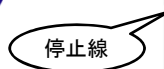


Q8. 交差点注意マークの設置位置として適切だと思うものに丸をつけてください。

- 案A. 停止線から3m手前に1コ
- 案B. 停止線から6m手前に1コ
- 案C. 案A+案B(2コ設置)

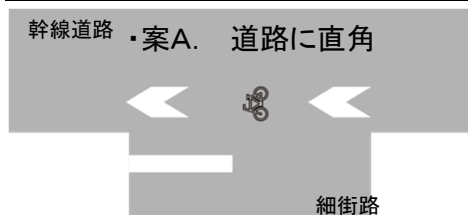


交差点注意マーク



実験④幹線道路×細街路 自転車マークの設置方向(向き)

Q9. 幹線道路と細街路が交わる交差点において、細街路から出るクルマの運転手からみて適切だと思う自転車マークの設置方向に丸をつけてください。



実験⑤逆さ絵の試走

Q10. 現在京都市では逆走防止のアイデアとして自転車走行空間における逆さ絵の活用を検討中です。試走いただいた逆さ絵についてご意見・ご感想等をお聞かせください。

【自由回答】

実験内容に関することでお気づきの点など、ご自由にご記入ください。

本日回答いただきました結果をもとに、今年度12月～1月には、河原町丸太町での実証実験を行います。また、実証実験での検証を踏まえ京都市自転車走行環境整備ガイドラインを策定いたします。

暑い中での実験へのご協力、大変ありがとうございました。